

授業科目	＊ ツーリズム演習					単位	1		
履 修	必修	関連資格				ナンバリング	TO12101J		
開講年次	1 年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-3 DP1-4 DP2-2 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-2				
担当教員	友原 嘉彦								
授業概要	本講ではこれまでに身に付けた観光学の理論と観光に対する見方や考え方を活かし、観光都市計画に焦点を当てて学んでいく。具体的には交通面についてドイツの事例を基に検討する。								
学生が達成すべき行動目標	ドイツの観光都市計画について交通面を中心に理解することができる。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	40	0	40	0	0	20	100		
知識・理解 (DP1-1)	5		5				10		
知識・理解 (DP1-2)									
知識・理解 (DP1-3)	5		5				10		
知識・理解 (DP1-4)	5		5				10		
思考・判断 (DP2-1)									
思考・判断 (DP2-2)	25		5				30		
関心・意欲 (DP3-1)			10				10		
関心・意欲 (DP3-2)									
態度 (DP4-1)						10	10		
態度 (DP4-2)						10	10		
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)			10				10		
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル				標準的なレベル					
ドイツにおける観光都市計画について交通面を中心に十分に理解している。				ドイツにおける観光都市計画について交通面を中心に理解している。					
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	・ガイダンス ・コンパクトシティとは何か			講義		復習		80	

2	・日独の都市計画の違い 1	講義	復習	80
3	・日独の都市計画の違い 2	講義	復習	80
4	・都市において自動車を用いることによる影響 1	講義	復習	80
5	・都市において自動車を用いることによる影響 2	講義	復習	80
6	・都市観光とモータリゼーション 1	講義	復習	80
7	・都市観光とモータリゼーション 2	講義	復習	80
8	・都市観光とモータリゼーション 3	講義	復習	80
9	・都心における「マイカー」からの脱却 1	講義	復習	80
10	・都心における「マイカー」からの脱却 2	講義	復習	80
11	・都心における「マイカー」からの脱却 3	講義	復習	80
12	・都心における自転車交通政策 1	講義	復習	80
13	・都心における自転車交通政策 2	講義	復習	80
14	・サイクルツーリズム 1	講義	復習	80
15	・サイクルツーリズム 2	講義	復習	80
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	・実際の観光経験の反芻はもちろん、さまざまなメディアを通して日頃より観光に触れておくこと。 ・観光の中でもとりわけ都市交通について触れ、考えておくこと。			
テキスト	村上敦(2017)『ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するのか』学芸出版社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・遠藤英樹(2017)『ツーリズム・モビリティーズ』ミネルヴァ書房 ・淡野明彦(2004)『アーバンツーリズム』古今書院			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	観光学を修めていく上での最初の少し専門的なステップです。知的好奇心を持って臨んでください。			
達成度評価に関するコメント	ドイツの都市交通政策を知り、なぜ日本とあまりに隔たりがあるのかについて考え、交通面で人が豊かに生きるにはどうしたらより良いのかを検討していきましょう。			